

広報 おおづ 11

NOV2020



出口 EXIT



今月のみどころ

待ってたよ！
北側復旧ルート 開通

新しい生活様式
皆で変えれば当たり前
～飲食店編～

今月の表紙

9月27日にウォーキングイベントが行われ、町民約130人が参加しました。参加者は約6キロのコースを歩き、今しかできない経験を楽しみました。

UD FONT
見やすくて読みかたにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

広報 おおづ 2020 11

発行・編集 ■大津町・総務課
〒869-1292 熊本県菊池郡大津町大字大津 1233 番地
TEL.096(293) 3111 <http://www.town.ozu.kumamoto.jp/> ※広報おおづは随所に配置して再生機と補助用インクを使っています。

Public relations
OZU TOWN



道の駅では訪れた人たちを楽しませるためにさまざまなイベントが開催されています。猿回しに、人だかりができていました。

新設されたトイレ。災害時に備え、電気や水道が止まっても、自家発電と貯水タンクにより通常通り使用ができます。

とにかく発信！ 笑顔のために！



(株)熊本文化の森 道の駅大津
駅長 代表取締役

うえの けんいち
上野 賢一 さん

10月3日、国道57号、北側復旧ルートが同日開通した。今回は道路の開通を待ち望んだ中の一人である道の駅大津駅長・代表取締役上野賢一さんをクローズアップする。

JR豊肥本線の開通に続き国道57号、北側復旧ルートが開通し、道の駅にも人出が戻り笑顔であふれている。熊本地震に続き、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により客足が激減していたが、今では増設した駐車場もいっぱいになり目頭が熱くなった。

しかしこの日を迎えるまでには苦難の日々が。道の駅に向向してきて2年。慣れたところに起きたのが熊本地震。本震当日の朝に道の駅に行く、店内は商品が散乱し、天井の一部が剥がれていた。それでも営業を再開し、レストランのオーナを中心に炊き出しも行った。SNSで炊き出しや物資配布の情報を発信したことで多くの人が集まり、県外からも支援物資が運ばれてきた。さらに、全国の道の駅からも支援や励ましの言葉があり、つながりの大切さを感じた。

上野さんが地震を通して学んだのは「発信」する重要性。SNSもそうだが地震後道路が通行止めになり客足が伸びない中、何とかしなければ福岡や長崎に売り込み、その結果、駅やイベントなどの販売が実現し、努力が実った。「多くのボランティア、支援をしてくださった皆さんを見て、自分も頑張らなくてはと思った」と上野さん。今後道の駅は、新設したトイレや今年建てた防災倉庫などを用いた防災拠点としての役割も担っていく。

道の駅の役目は旅の思い出作りを手助けすること。お客さんの笑顔のため日々汗を流す。「地震で地元の人たちに支えられていることを実感した。地元で愛される道の駅になるため、新しい取り組みを行いたい」と目を輝かせる。発信を続けて地震を乗り越えた道の駅大津。開通した道路を通って訪れる人にどんな笑顔の花を咲かせるのか楽しみだ。

からいもくん便り

大津町総合情報メール

登録方法：ozutown@gw.ansin-anzen.jp に空メールを送信してください（スマートフォンの場合は件名に任意の1文字「あ」などを入力して送信）。



大津町公式アカウント

友だち追加の方法
①LINEの友だち追加の画面から「@ozutown」で検索する。
②次のバーコードを読み込む。



▼北側復旧ルートが開通したので、私も開通日に早速通ってみました。するとインターチェンジの入り口にたどり着く前から渋滞が始まり、自動車専用道路に入ってもしばらくはゆっくりしか進みませんでした。多くの人々が待ち望んでいたのだと、勝手にうれしい気持ちになりました。これから多くの人が大津を訪れてくれることを願っています。今は渋滞はしなくなりましたが、皆さんもぜひご利用ください（暁）

ついでの声